

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年2月29日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690500048
法人名	医療法人 親貴会
事業所名	グループホーム てね
所在地	鹿児島県いちき串木野市小蘭5050番地1 (電話) 0996-33-2210
自己評価作成日	令和6年1月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年2月21日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・H27年4月より敷地内に児童発達支援センターと就労支援施設等の障害者施設が開設し、子供達や障害者の方と交流を図っているが、コロナの影響で直接な交流は、出来ていないが、現在も間接的な交流をしている。
- ・毎朝申し送り時、マスクや換気をしっかりしたうえで、復唱を行ない理念に沿ったケアが出来るように取り組んでいる。
- ・年4回のホーム便り(てね便り)発行し、地域の方や家族の方に配布を行っている。
- ・四季の行事を行ったり、年に1回、誕生日の月に本人の要望を取り入れ、家族と話し合いながら、わがままdayを実施したり生活リハを取り入れながら生きがいを見出し、今を楽しく生活できるように支援している。
- ・地域ボランティアによるころぼん体操は、コロナ禍の影響により現在も行えていない。コロナ禍が落ち着き、地域の方々と触れ合う事が出来る様になった際には、ころぼん体操を再開したいと思います。
- ・介護相談員事業に参加し、毎月1回入居者と話しをして頂き、サービスに関して不安や不満を聞いて頂きサービスに繋がれるように実施している。
- ・コロナの影響で現在は出来ていない。
- ・コロナを気にしながら徐々に、以前のような形に戻れるように取り組んでいる。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は敷地内に児童発達支援センターと障害者の就労支援施設が併設されている。コロナ感染対策で直接的な交流は自粛しているが、間接的な交流は継続している。
- ・自治会に加入、無線放送で情報を得ている。地域行事や公民館活動にも参加し、野菜の差し入れや介護相談、入居や申請相談など日ごろから交流が図られている。
- ・家族とのグループラインを活用して情報提供や意見交換を行っている。把握した意見や要望は職員間で共有し、必要に応じて運営に反映している。
- ・施設長や管理者は現場に携わり、職員とのコミュニケーションを図っており、意見や要望・提案などがやすく、働きやすい職場環境となっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は、各フロア毎に掲示されており、定期的に朝礼等で復唱するようにしている。理念は、理事長の方針であり職員採用・異動時・全体会議の中で説明している。	開設者の思いのこもった事業所理念で、パンフレットに記載し、事業所内に掲示。ネームプレートに携帯して、朝礼時に唱和と職員間において確認と振り返りが行われています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方が、野菜の差入や散歩のついでに訪問されご主人の介護相談などもされる。また公民館会員であり、公民館活動（行事等）にも要請があれば参加している。	自治会に加入、無線放送で情報を得ている。地域行事や公民館活動にも参加し、地域からの野菜の差し入れや介護相談、入居や申請相談等に応じ、日頃から交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方が、認知症で悩んでいるご家族を事業所に連れてたり、今後の施設選びなどのアドバイスをを行っている。気軽に声掛けできる雰囲気作りも行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月毎の運営推進会議に、麓地区の公民館長や同地区の2名の民生委員、地域包括支援センターなど積極的に参加され、活発に意見を述べられている。施設の情報や取り組み方などを、すべてオープンに報告をしている。	2ヶ月毎の対面での会議を開催し、施設行事や入居者の状況・ヒヤリハット・事故報告等を行い、参加者からも地域の状況や相談等があり、情報・意見交換を行って支援に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	施設長・管理者は、すべての業務に就いているので、施設運営・管理業務がおろそかになりがちである。わからないことがあると、介護保険系の担当者に直接問い合わせしている。	電話や出向いての相談や問い合わせをしている。行政からはメールでの情報提供や研修案内があり研修は積極的に参加している。日頃から協力関係を築くよう努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を中心に、研修会や身体拘束になる可能性について、毎日の業務内で職員全員が意識付けするようにしている。新しいあざ等がみられた場合には、本人・ご家族にも説明している。インシデント・アクシデント報告も上げている。	指針・マニュアルを整備し、委員会を3ヶ月毎に開催している。勉強会の開催や確認事項で意識の統一が図られている。スピーチロックも含め身体拘束ゼロを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束・虐待防止委員会を設置している。全職員年4回の研修会を実施し、研修報告書も提出している。またコロナ禍の影響により、協会等が実施する研修会も減少しており、今後はオンラインでの研修参加体制づくりを推進する。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度に関しては、学ぶ機会を設けている。全体会議等を通じ、職員一人一人が理解できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、契約書（重要説明書含む）をお互い見ながら説明をし、不明な点を明確にしておくとともに、契約後も不具合があれば、電話や面会時に説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議の場や面会の際に、意見・要望を伺いなるべく早く反映できるように努めている。	利用者からは日常会話の中で、家族からは面会時や運営推進会議において意見や要望を聞く機会を設けている。家族とのグループラインを活用して情報提供や意見交換を行っている。把握した意見や要望は職員間で共有し、運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のミーティングで、各職員からの意見等を聞き、改善・反映している。	朝礼やミーティングにおいて意見や提案・要望等を聞く機会を設け、日常のケアにおいても気軽に出し合える環境となっている。理事長による個人面談、必要に応じて随時、面談を行っている。出された意見や提案・要望は検討し、運営に反映している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	施設状況や業務内容・職員配置など不具合があった場合には、出来るだけ早く対応するようにしている。管理者も、職員の業務や悩みの相談にのり働きやすい職場づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>コロナ禍で中々研修等行えていないが、今後緩和に伴い進めていく方針である。オンラインでの研修は、行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により機会は減ったが、近隣施設との交流にも心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所時、安心・安全な生活を送れるように困難事項を早期に対応し、利用者のニーズを十分に聞き、信頼関係を築けるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご利用を始めるにあたり、利用者・ご家族の意見を十分に聞き、ニーズを引き出すよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>必要としている支援内容を、本人・ご家族と一緒に話し合っている。又、ケアプランに沿ったもっともよいと思われるサービスが出来るように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者と共に暮らしたり、会話を通じていろいろな事を学び、出来事などを教えてもらうことにより、利用者との関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍が長引いているが制限が緩和され、短い時間でもご家族との時間を設けることが出来るように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会制限が緩和され短い時間ではあるが、ご家族との対面での会話をしている。	家族の面会が多く、家族との外出や外食、馴染みの美容室に行く利用者もいる。電話の取次ぎや手紙・はがきでの支援等、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の会話ができる場を設けたり、コミュニケーションが図れるようにレクリエーション等を交えながら、支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	法人内に入院された際には、お見舞い・面会は制限されているため、ご家族や看護師に状況を聞き、必要に応じて相談等の支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で、利用者の思いや希望の把握に努めている。気付いた点や問題点は職員間で話し合い、場合によってはご家族に相談するなど、ケアに努めている。	アセスメントや家族からの情報、日常会話の中から思いや意向を把握し、困難な場合は本人本位に検討している。申し送りノート等で職員間で共有し、買い物やわがままデイ等の計画へつなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者との会話や、ご家族からの情報等、また入居時のアセスメントの内容をもとに、これまでの生活環境の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活リズム、心身の状態を把握し、少しの変化も気づけるように注意し、日々の状態変化等を記録に残し、職員間で共有し現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者のご家族の希望に沿って、必要と思われる計画を作成している。また、月1回のフロア会議にて職員間で話し合い、共有している。	モニタリングは3ヶ月毎、介護計画は6ヶ月毎に行われている。利用者毎の担当者が中心となり毎月のフロア会議において情報を共有し、介護計画に反映している。状況変化時には随時、見直しを行い、現状に即した介護計画となっている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子や変化等を個々の記録に残すことで、情報の共有に努めている。また職員間で情報交換をし、状況に応じたケアが出来るようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族・本人より要望があった際には、その時の状況で出来る限りの支援や、サービスが出来るようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>コロナ禍により、地域のボランティアの訪問・公民館の行事への参加はできていない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月1回の定期受診を行っている。他科受診については、家族の意向を聞き、協力をして頂いている。</p>	<p>母体である医療機関が主治医となっており月1回の定期受診を行っている。他科受診は家族対応で必要に応じて職員が同行している。歯科は往診で対応。主治医との連携が図られて適切な医療が受けられる体制となっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>急変時や日常と少しでも違う体調変化等がみられた際には、病院へ連絡し指示を貰い、適切な医療サービスが受けられるようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された際にはサマリーを作成し、病院との情報交換をしている。また病院に出向いたり、電話等での情報収集を行い、職員と共有を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に家族の方に、ターミナルケアについての意向を聞き、対応を行っている。また医療機関との連携を図っている。利用者の状態変化に応じて、その都度話し合いを重ね、適切と思われる方法に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に重度化した場合や看取りについての意向を確認、状況に応じてその都度、話し合っ て、再確認している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応マニュアルを作成し、対応を行っている。また消防署の方々に、応急手当や心肺蘇生法についての勉強会の開催をお願いしている。夜間帯は、待機者を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を、年2回実施しています。スプリンクラーや緊急通報装置を設置し、防災設備は定期的に業者が点検を行っている。また非常食を備蓄している。</p>	<p>年2回、そのうち1回は消防署の指導のもと総合訓練を実施している。連絡網を作成し、地域住民や系列施設への協力依頼と訓練実施を通知している。業者による防災設備の定期点検、3日分の備蓄とカセットコンロなど備品も準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>利用者一人ひとりの人格や気持ちを考え、尊敬の念をもって接しています。利用者の状況を十分に注意し、プライバシーを損なわないように声掛けを行っている。</p>	<p>マニュアルがあり、接遇や権利擁護等の研修を計画的に実施している。入居時に名前の呼び方を確認し統一している。入浴介助や排泄介助等はプライバシーに配慮したケアを心がけている。申し送り時には番号や隠語を使う等、配慮して対応している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常生活の中で希望を聞き、本人が自己決定出来る様に、支援を行っています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりの気持ちは変化があるため、個々の気持ちを大切に、強制しない支援を行っています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>本人の希望や清潔を考慮し、定期的にビューティヘルパーを頼み、散髪を行っている。また服に関しては本人に確認し、着て頂くようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の見た目を考え、副菜の配置に注意している。また食後には、お盆拭きを手伝っていただいています。	季節の食材や差し入れの野菜を使用して職員が献立を作っている。行事食や誕生日食・手作りケーキ・花見弁当・代替え食の準備、食事形態の工夫、火曜日と金曜日の朝のパン食等、食事が楽しみなものになるよう工夫している。個々に里芋やつわの皮むき・台ふき等を一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を、毎日記録している。食事量や水分摂取量の低下がみられた場合には、体調など考慮し補食等を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に自分で出来る方は見守りを行い、介助が必要な方には、出来る所は自分でして頂き、出来なかった所は声掛けしながら介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表から個々のパターンを把握し、その方にあった時間に声掛けを行っている。介助が必要な方は定期的に誘導を行い、自立した排泄が出来るように支援している。	排泄チェック表でパターンを把握、日中は声掛け誘導でトイレでの排泄を支援している。おむつやリハビリパンツ・パット、夜間のみポータブルトイレ使用など個々に応じて自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ここに応じた便秘予防と対策、食物繊維の多い食べ物や乳製品の提供、水分チェックを行い運動への働きかけを、必要に応じて行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者の体調やタイミングに合わせて、入浴の声掛けを行っている。また本人の希望に合わせて、入浴の支援をしている。	週2～3回、体調やタイミングに合わせて入浴を実施している。拒否のある場合は声かけの工夫や時間差で対応、状況に応じて清拭やドライシャンプーでの洗髪で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休息や十分な睡眠が取れる様に、個々の状況に応じた衣類や照明の明るさ・室温調整を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが服用・使用している薬については、処方箋をいつでも確認できる場所に置き、全職員が周知出来るようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	好きな事や得意な事を把握し、気分転換等が出来る様に、工夫をしながら支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナウイルスも5類となり、家族との面会もマスク着用で距離を置き、会話ができる様に工夫している。また家族の協力のもと、外出や他科受診など利用者の希望に沿った支援ができる様に努めている。</p>	<p>コロナ感染対策で外出の機会が少なかったが少しずつ、天気の良い日には散歩に出かけたり、医療機関受診に合わせてミニドライブや花見、家族の協力を得て外出や外食等、日常的に外出支援に努めている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居時に生活に必要な金銭を預かっている。利用者の必要な品物や嗜好品が、いつでも購入出来る様にしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話を希望される方には、必要に応じて代行している。個々への手紙に関しては、本人に確認した上で開封し、手渡している。また読めない利用者に関しては、職員が朗読するなど支援を行っている。。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関には季節に応じた花を植え替え、季節を感じて頂ける様に工夫している。また共用空間では、居心地よく過ごして頂くために、空調・照明・温度等に配慮している。生活空間では、不快感や刺激が無いように工夫している。</p>	<p>ホールは広く大きな窓で明るく、加湿器や空気清浄機が置かれ、換気と室温湿度調整など配慮している。テーブルや椅子、ソファコーナー、季節の花や壁には手芸作品や塗り絵が飾られている。居心地よく過ごせる環境となっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホール内にソファを置き、利用者がいつでも使用出来る様にしている。ゆっくりと過ごせる場を設け、入居者同士がいつでも会話出来る様にしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には本人が入居する前に持っておられた物や、使い慣れた物を飾り、居心地よく過ごして頂ける様に、工夫をしている。また家族が持ってこられた家族写真等も飾り、自分の部屋と分かる雰囲気作りに、心掛けている。</p>	<p>居室は大きな掃き出し窓で明るい。エアコン・ダンス・ベッド・キャビネットが備え付けられている。個々に使い慣れたテレビやラジオ等を持ち込み、手芸作品や写真・カレンダーを飾っている。本人にとって居心地よく過ごせる環境になるように配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホール内はクッションフロア（バリアフリー）となっている。また各居室入口・トイレ・浴室等に手摺があり、安全に移動出来る様に工夫されている。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない